

The 16th Annual Conference of Japan Society of Maternity Nursing



第16回

日本母性看護学会学術集会

プログラム・抄録集

メインテーマ

周産期看護と健やか親子21



日時 ● 2014年 6月28日(土)

会場 ● 京都橘大学

会長 ● 遠藤 俊子

京都橘大学看護学部・
大学院看護学研究科



第16回

日本母性看護学会学術集会

The 16th Annual Conference of Japan Society of Maternity Nursing

プログラム・抄録集

メインテーマ

周産期看護と健やか親子21

日時 ● 2014年 6月28日(土)

会場 ● 京都橘大学

会長 ● 遠藤 俊子

京都橘大学看護学部・大学院看護学研究科



学術集会事務局

京都橘大学 看護学部

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34 TEL&FAX: 075-574-4250

E-mail: jsmn2014@tachibana-u.ac.jp

INDEX

学術集会長挨拶	1
学術集会参加者へのご案内	2
発表者へのご案内	4
交通アクセス	6
キャンパスマップ	7
会 場 図	8
日 程 表	10
プログラム	12
抄 録	
会長講演	25
特別講演	26
教育講演	27
公開講座	28
シンポジウム	31
一般演題(口演)	37
一般演題(ポスター)	67
交流集会	89
後援広告展示一覧、査読者・実行委員一覧	93

学術集会会長挨拶

第16回日本母性看護学会学術集会開催にあたって

学術集会会長 遠藤 俊子

(京都橘大学 看護学部教授)

第16回日本母性看護学会学術集会を、京都山科の地で開催させていただくことになりました。水無月(6月)末の京都は、1年の丁度折り返し地点にありこの半年の罪や穢れを祓い、残り半年の無病息災を願う「夏越の祓(なごしのはらえ)」といわれる神事が行われます。ご参加の皆様には、日本全国からお集まりいただき感謝申し上げます。

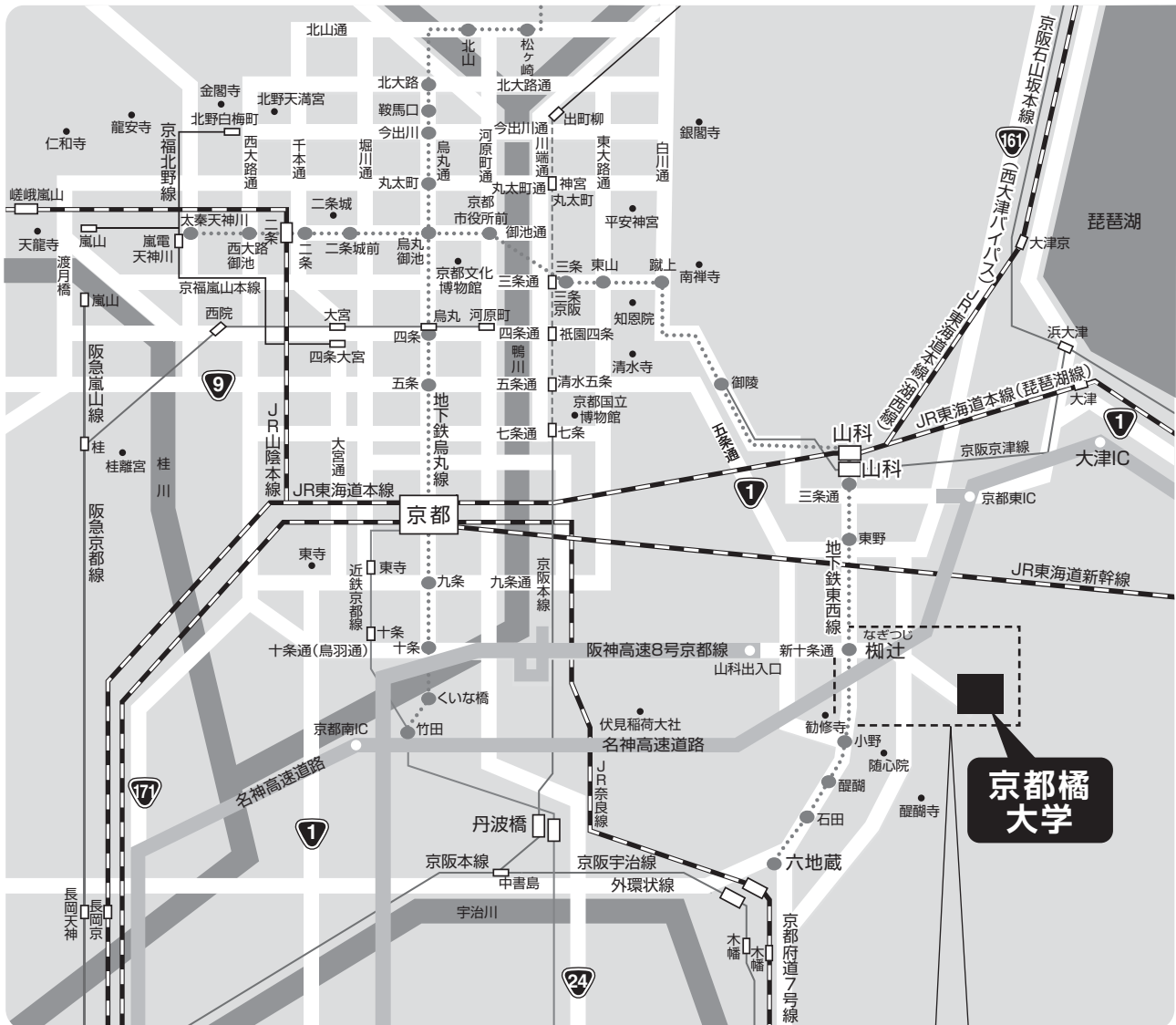
日本母性看護学会の目的は、母性看護学の進歩発展を図り、母子および女性の健康と家族の福祉に貢献することにあります。2001年より開始した「健やか親子21」の最終年度になろうとしています。この運動は、まさに日本の母子や家族の抱える課題に取り組む母性看護学の教育・研究・社会活動をしている者にとって貴重な指標であり、ケア課題に重なります。

そこで、今回の学会のテーマを『周産期看護と健やか親子21』と題し、基調講演には「健やか親子21の評価と今後の取り組み」として、当初から達成度評価の視点を取り入れ、中心的に取りまとめた山梨大学大学院の山縣然太郎教授をお招きしました。最終評価と次期計画に向けた提言をお示しいただくことになっております。また、シンポジウムでは、「妊産婦・子育て期の禁煙行動支援」の最前線で取り組まれている奈良女子大学の高橋裕子教授に基調講演をいただきながら3名のシンポジストの先生方と共に、参加者一同が具体的な禁煙支援活動に踏み込めることを願っております。

日々の看護実践や研究活動でのエビデンスを構築すること、エビデンスに基づいた看護実践を行うことは誰しもが願うことでありながら、容易でもないことも事実です。学会はその中心的役割を果たしていくことが求められています。学術集会は、まさにその知見を交し合う交流の場であります。1日限りの学術集会ですが、同課題をもつ研究者や実践者の交流が深まることを期待します。

最後に開かれた学会活動を展開し、市民と交流することも学会の使命として、高校生のためのナースィングサイエンスカフェや市民公開講座「団塊世代の孫育ての極意」などもお楽しみください。京都で夏越の祓をしてリカバーし、明日からの教育・研究・実践活動の一助にいただければ幸いです。

交通アクセス



山科駅までのアクセス

- 京都駅よりJR東海道線(湖西線)にて1駅
- 私鉄 京都市営地下鉄東西線、京阪京津線

山科駅からのアクセス

- 京阪バス(約20分、運賃220円)

のりば	行先	下車停留所	山科駅発
5番	26A 京都橘大学	京都橘大学(終点)	8:00、8:15、8:40頃

※大学への直通バスが臨時で発車いたします。
2番のりばから8:31に発車するバスは平常運行バスとなります。

- タクシー(約15分、運賃1200円)

※京阪バスの本学への乗り入れは、休日ダイヤのため限られております。山科駅で、学会参加者のタクシー乗合をご案内しておりますので、ご利用ください。

- 京阪市営地下鉄東西線(約4分、運賃210円、下車後徒歩20分)

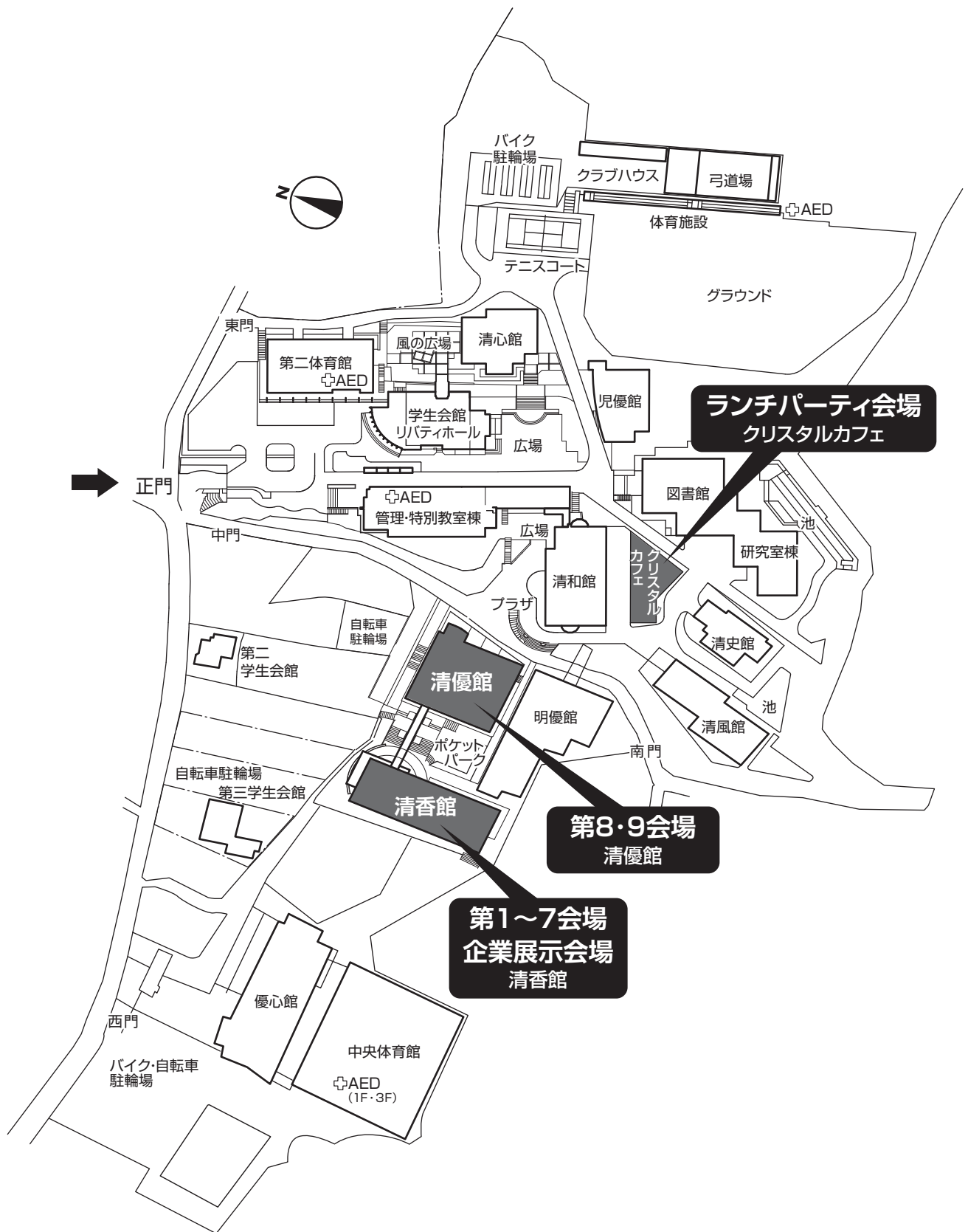
のりば	行先	下車停留所	山科駅発
2番	六地藏行	柳辻(なぎつじ)駅	約10分毎

(平成26年4月現在)



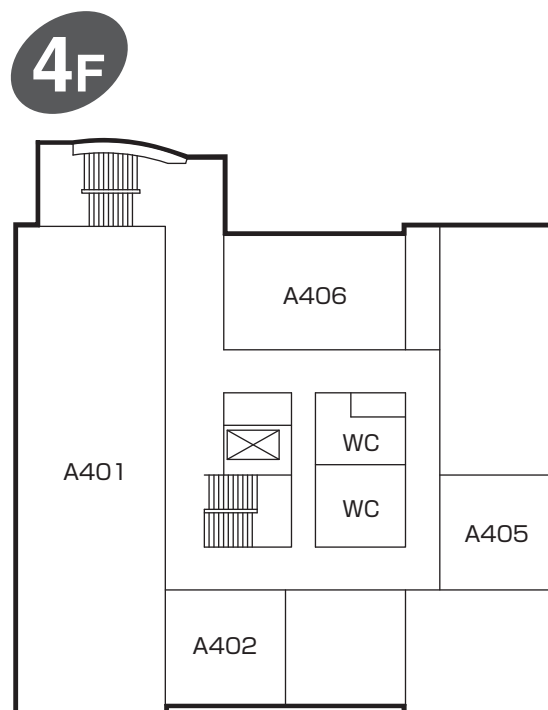
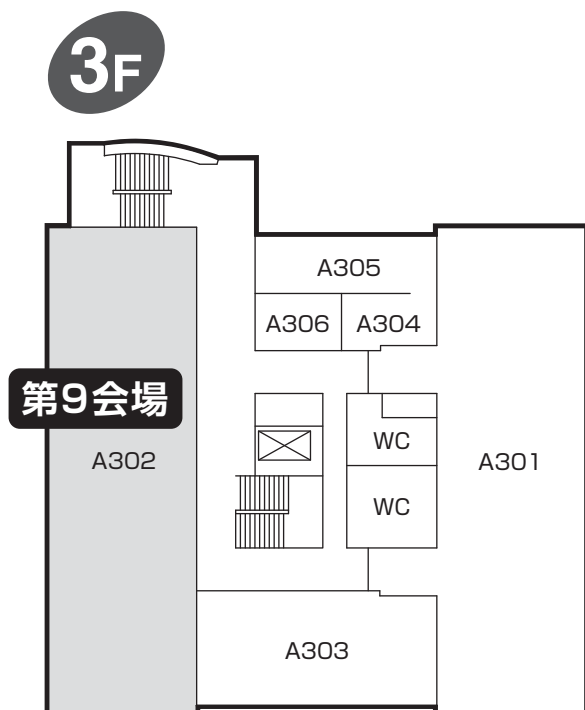
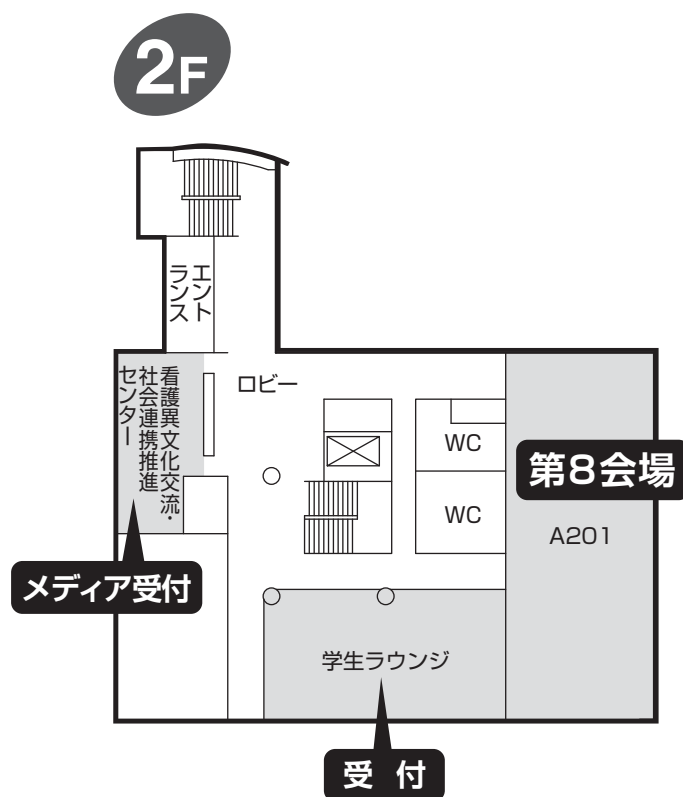
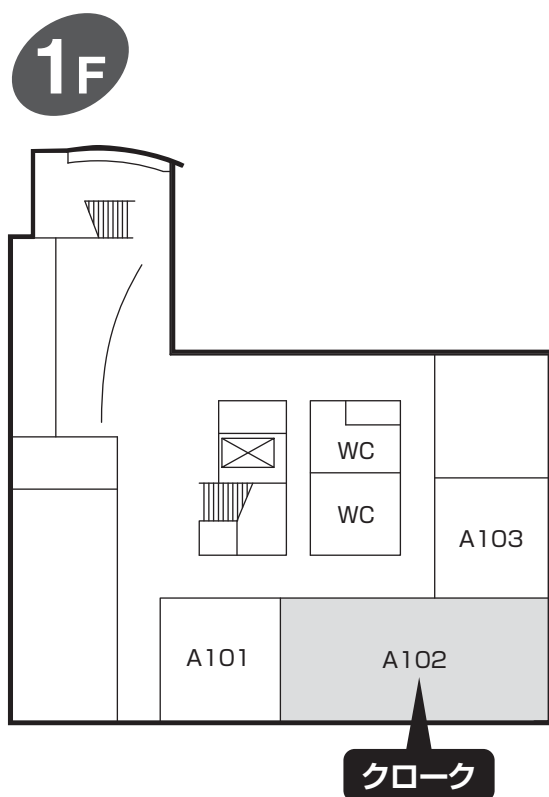
なお、会場および会場周辺には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

キャンパスマップ



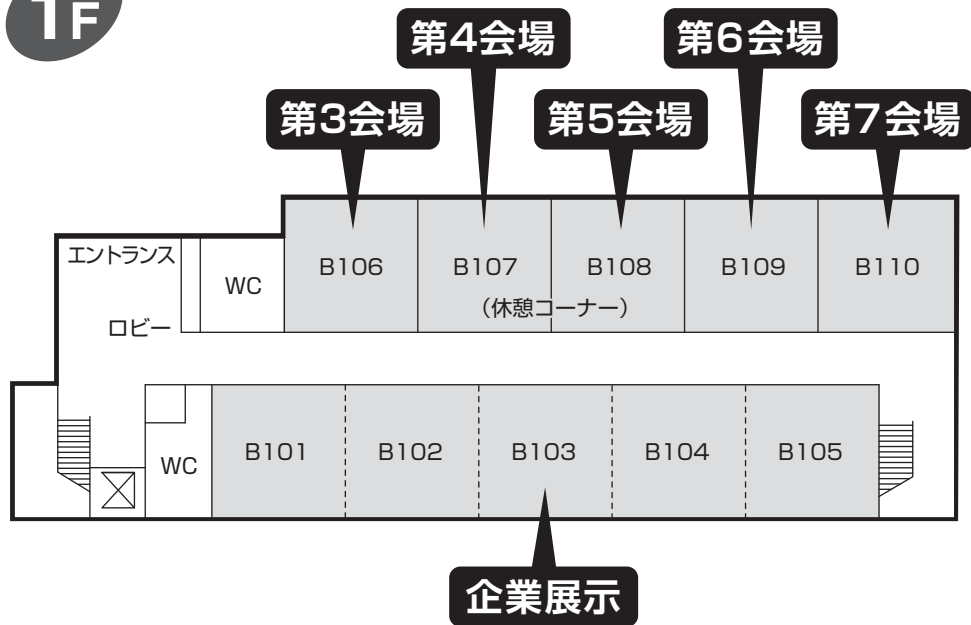
会場図

清優館

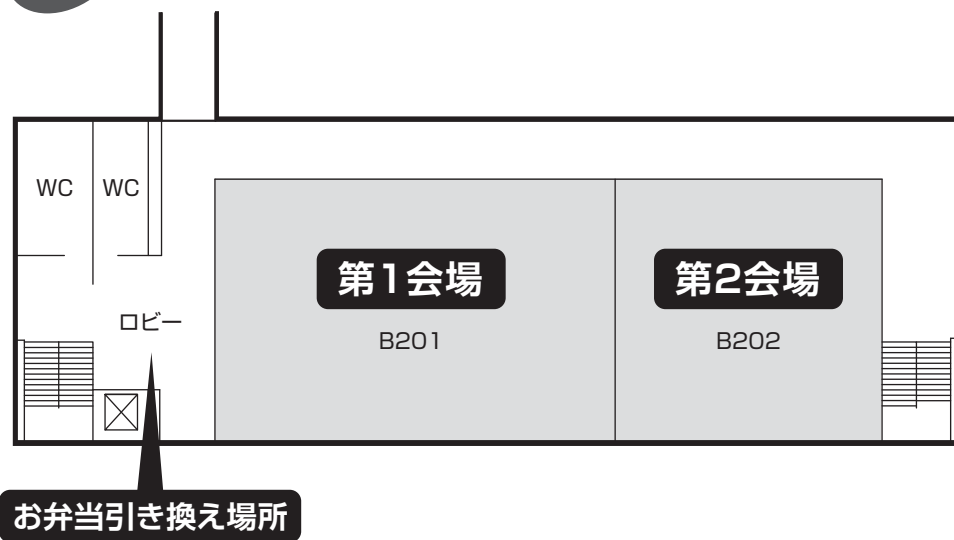


清 香 館

1F



2F



日 程 表

6月28日(土) 京都橘大学

清 香 館			
第 1 会 場 B 201		第 2 会 場 B 202	第 3 会 場 B 106
9:00	9:00～9:10 開 会 式		
	9:10～9:40 会長講演 周産期看護のイノベーション 遠藤 俊子(京都橘大学)		
10:00	9:40～10:30 特別講演 健やか親子21の評価と 今後の取り組み 山縣 然太郎(山梨大学大学院)		
11:00	10:40～11:40 □ 演 1 基礎教育	10:40～11:40 □ 演 2 健康教育	10:40～11:40 交流集会 1 周産期看護ケアにおける データ集積と分析の あり方
12:00	11:40～13:10 昼食会場	11:40～13:10 昼食会場	
13:00		13:10～13:40 総 会	
14:00	13:40～16:00 シンポジウム 妊産婦・子育て期の 禁煙行動支援 基調講演 演者：高橋 裕子(奈良女子大学) シンポジスト：坂東 春美(滋賀医科大学) 滝川 雅之 (医療法人 緑風会 ハロー歯科) 瀬瀬 朋弥(岐阜大学)	14:40～16:00 □ 演 5 助産業務	
15:00			
16:00		16:00～17:00 □ 演 7 新生児	16:00～17:00 交流集会 2 母性看護学の実践知を 集積するために ～看護実践を実践知とす るための課題～
17:00	17:00～17:45 教育講演 CTG 判読セミナー 村林 奈緒(三重大学)		
18:00	17:45～18:00 閉 会 式		

清 香 館				清 優 館		清香館	クリスタル カフェ
第4会場 B 107	第5会場 B 108	第6会場 B 109	第7会場 B 110	第8会場 A 201	第9会場 第2実習室	B101 ～B105	
9:00 ～10:40 ポスター 掲示 (休憩室兼)	9:00 ～10:40 ポスター 掲示 (休憩室兼)	9:00 ～10:40 ポスター 掲示	9:00 ～10:40 ポスター 掲示			9:40 ～ 17:00 企 業 展 示	
				10:40～11:40 □ 演 3 ハイリスク 1			
							11:40～ ランチ パーティ (申込者のみ)
				13:40～14:40 □ 演 4 妊 婦	13:30～15:00 ナーシング サイエンス カフェ (高校生対象)		
				14:40～15:40 □ 演 6 ハイリスク 2			
16:00 ～17:00 ポスター1 子育て	16:00 ～17:00 ポスター2 助産ケア	16:00 ～17:00 ポスター3 CNS	16:00 ～17:00 ポスター4 教育・管理				
				17:00～17:45 公開講座 団塊世代の 孫育ての極意	宮本まき子 (家族問題評論家)		

プログラム(講演・シンポジウム等)

6月28日(土)

9:00~9:10

開会式

第1会場: 清香館 B201

学術集会会長挨拶 遠藤 俊子(京都橘大学)
理事長挨拶 森 恵美(千葉大学大学院)
開催大学学長挨拶 細川 涼一(京都橘大学)

9:10~9:40

会長講演

第1会場: 清香館 B201

座長: 高橋 眞理(順天堂大学)

周産期看護のイノベーション

遠藤 俊子(京都橘大学)

9:40~10:30

特別講演

第1会場: 清香館 B201

座長: 石井 邦子(千葉県立保健医療大学)

健やか親子21の評価と今後の取り組み

山縣 然太朗(山梨大学大学院)

13:40~16:00

シンポジウム

第1会場: 清香館 B201

座長: 齋藤 いずみ(神戸大学大学院)
佐々木 綾子(大阪医科大学)

妊産婦・子育て期の禁煙行動支援

基調講演者: 高橋 裕子(奈良女子大学・京都大学附属病院呼吸器内科 禁煙外来)

シンポジスト: 坂東 春美(滋賀医科大学)

滝川 雅之(医療法人 緑風会 ハロー歯科)

瀬瀬 朋弥(岐阜大学)

17:00~17:45

教育講演

第1会場: 清香館 B201

座長: 中井 愛(滋賀医科大学医学部付属病院)

CTG 判読セミナー

村林 奈緒(三重大学)

17:00～17:45 公開講座

第8会場：清優館 A201

座長：前原 澄子（京都橘大学）

団魂世代の孫育ての極意

宮本 まき子（家族問題評論家）

共催：京都橘大学

後援：京都市

17:45～18:00 閉会式

第1会場：清香館 B201

次回学術集会案内

高橋 真理（順天堂大学）

閉会の挨拶

遠藤 俊子（京都橘大学）

プログラム(一般演題・口演)

6月28日(土)

10:40～11:40 **口演1** [基礎教育]

第1会場：清香館 B201

座長：大平 光子(広島大学大学院医歯薬保健学研究院)

O-01 産婦の動画事例を用いた学内演習の試み

○布原 佳奈¹⁾、服部 律子¹⁾、名和 文香¹⁾、武田 順子¹⁾、瀬瀬 なつ子¹⁾、臼井 いづみ²⁾

1) 岐阜県立看護大学 看護学部、2) 千葉大学大学院看護学研究科

O-02 模擬産婦養成プログラムの実施と参加者による評価

○石井 邦子¹⁾、北川 良子¹⁾、林 ひろみ¹⁾、鈴木 幸子²⁾、山本 英子²⁾、芝本 美紀³⁾、大井 けい子⁴⁾

1) 千葉県立保健医療大学 健康科学部、2) 埼玉県立大学 保健医療福祉学部、
3) 元 埼玉県立大学 保健医療福祉学部、4) 青森県立保健大学 健康科学部

O-03 模擬産婦および胎児心拍陣痛再生装置を用いた分娩介助演習の評価 — 学生のグループインタビューより —

○芝本 美紀¹⁾、鈴木 幸子²⁾、山本 英子²⁾、石井 邦子³⁾、林 ひろみ³⁾、北川 良子³⁾、大井 けい子⁴⁾

1) 元 埼玉県立大学 保健医療福祉学部、2) 埼玉県立大学 保健医療福祉学部、
3) 千葉県立保健医療大学 健康科学部、4) 青森県立保健大学 健康科学部

O-04 セルフケアプログラムを取り入れた教育方法の検討

○名和 文香、服部 律子、布原 佳奈、武田 順子、瀬瀬 なつ子
岐阜県立看護大学 看護学部

10:40～11:40 **口演2** [健康教育]

第2会場：清香館 B202

座長：河野 洋子(淑徳大学)

O-05 総合病院における産後入院期間の延長及び父親への育児教育ケアパックの効果

○長坂 桂子¹⁾、浅井 百合絵²⁾、御手洗 幸子¹⁾、小笠原 慶子¹⁾、滝田 直美¹⁾、有水 真木子¹⁾

1) NTT 東日本関東病院 看護部、2) 元 NTT 東日本関東病院 看護部

O-06 社会的要因が父親意識に及ぼす影響に関する研究

○上林 聡子

広島文化学園大学 看護学部

O-07 初産婦の妊娠期における健康行動を支えている認識 — 健康教室の参加者を対象として —

○水野 仁子、福島 裕子

岩手県立大学 看護学部

O-08 産褥期における防災教育が褥婦の防災意識に与える影響

○藤田 真衣¹⁾、新谷 陽子¹⁾、松廣 美都²⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター、2) 独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センター

特 別 企 画

会 長 講 演

特 別 講 演

教 育 講 演

公 開 講 座

周産期看護のイノベーション

遠藤 俊子

第16回日本母性看護学会学術集会長
京都橘大学

第16回日本母性看護学会学術集会のメインテーマは「周産期看護と健やか親子21」と致しました。

学術集会長であります私の専門分野は周産期看護・助産であり、21世紀の母子保健の主要な課題、とりわけ第2課題の妊娠・出産に関する安全性と快適性の確保と不妊への支援、あるいは第4課題の子ども心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減は、この20年間の私自身の研究・教育・社会活動の歴史と重なり合うと言って過言ではないと思います。

私は、本務であります大学の看護教育・助産師教育活動に加えて、前任地での山梨県看護協会の助産師職能委員・理事としての12年間、日本看護協会助産師職能委員・理事としての12年間の社会活動や諸学会活動を通じて、日本全体の周産期医療に関わり、周産期看護の質向上、看護提供体制に焦点をあてて仕事をしてまいりました。

その一端であります2006年～2011年度までの厚生労働科学研究における「産科医療の集約化・重点化と助産師の活用について」「地域における周産期医療システムの充実と医療資源の適正配置に関する研究」から院内助産システムを構築し、普及してきた経緯を紹介します。この経験から今後の周産期医療と看護の役割とシステムに関する展望を述べつつ、イノベーション『変革』すること、またそれを可能にする要素を、述べさせていただきます。

シンポジウム

健やかな次世代を育てる鍵としての 妊産婦・子育て期の禁煙支援

高橋 裕子

奈良女子大学・京都大学附属病院呼吸器内科 禁煙外来

喫煙の有害性は医学的には明白である。能動喫煙はもとより、受動喫煙による健康影響をまとめたレビューでも、ごくわずかの受動喫煙によって非喫煙者の心筋梗塞の死亡率が1.3倍以上に高まることが示され、地域ぐるみの禁煙化が世界の各地で実施されるようになった。また最近ではPM2.5の測定によって屋外でも予想より広い範囲に受動喫煙の煙が広がっていることがわかってきた。換気扇の下での喫煙や屋外での喫煙でも受動喫煙は防ぎ得ない。受動喫煙および能動喫煙は妊孕能、妊娠、胎児、母乳や子どもの生育にも影響を及ぼすことが確認され、妊娠中はもとより産後子育て期間をふくめて妊産婦や子どもの周囲の非喫煙が強く求められるようになってきている。

しかし一方、「禁煙の話をするなり、いやな雰囲気になってしまう」など、禁煙を勧めることは容易ではないとの話もある。喫煙者への禁煙支援については、現在では禁煙薬物療法に「喫煙具を避ける」「行動パターンを変える」など行動療法を併用することが多く行われ、禁煙外来で定められた回数を受診した場合の3か月目での禁煙成功率はおよそ75～80%と一定の成果を上げている。

しかしながら薬物療法が使用しづらい妊産婦や、家族内で孤立しがちな子育て期の女性にとっては、依然として禁煙は容易な作業ではない。女性は本数以上にニコチン依存が強くなっていることも多く、喫煙者心理にもとづいた上手なサポートが求められるところである。そうしたサポートの一つとして、禁煙マラソンマタニティコースなどピアサポートも有用性を持つ。

「環境整備」「教育啓発」「禁煙支援」が禁煙推進の3本柱であるが、なかでも教育啓発は禁煙推進の根幹である。健やかな次世代を育てる鍵としての「喫煙しない世代」の育成は、たばこの無い日本の実現に大きく資するものとの視座にたって、妊産婦・子育て期の禁煙行動支援について解説したい。

一般演題

(口演)

○布原 佳奈¹⁾、服部 律子¹⁾、名和 文香¹⁾、武田 順子¹⁾、瀬瀬 なつ子¹⁾、
白井 いづみ²⁾

1) 岐阜県立看護大学 看護学部、2) 千葉大学大学院看護学研究科

【はじめに】少子化、ハイリスク化により母性看護実習での産婦ケアの機会が減少しており、産婦のイメージのつかない助産師学生は増加していると考えられる。今回、学内演習と臨地実習とのギャップを補完する一方法として産婦の映像教材を作成し、産婦・家族のイメージ化を図りながら事例演習を試みた。本研究の目的は映像を用いた産婦の事例演習を行い、効果的な事例演習について助産師学生の認識から検討することである。

【方法】

対象：4年制看護大学の助産師学生9名。

調査時期：2012年3月から8月。助産師課程の講義、演習が終了し、分娩介助実習開始前の時期。

事例演習の進め方：動画事例は8つの場面で構成されており、1場面ずつ視聴後に教員がファシリテーターとなり①分娩の進行状態、②産婦家族のニーズ、③必要なケアを中心にディスカッションを行った。

調査内容・方法：事例演習後に質問紙調査を行った。演習に対する学生の認識(面白かった、分娩進行状態の診断に役立つ等)について5段階で回答を得た。またよかった点、改善が必要な点について自由記述を得た。本研究は岐阜県立看護大学倫理審査部会で

承認を受けた(承認番号0027)。

【結果】事例演習に関する学生の認識は表の通りであった。よかったこととしては、分娩進行と共に変化していく産婦と家族をイメージできた、タイムラインにそって場面ごとに具体的に検討できた、情報収集すべき項目がわかった、実習への過度な不安が軽減した等であった。改善点としては、音声小さかった、もっと時間をかけて検討したい、CTGの波形データもほしい等であった。

【考察】分娩進行に伴う産婦・家族のイメージができ、意欲をもって取り組み、全員が“演習をやったよかった”と回答しており、学生の認識は概ね肯定的であった。しかし、“演習はやればできそうだった”は3.3点と低く、検討時間の不足の指摘もあったため、実習経験や学習状況に合わせて難易度と時間配分を調整する必要がある。また胎児の健康状態の診断に役立つと思うは3.6点と低かった。心音が聞き取りづらかったこと、CTGの判読は今回の学習には含まれていなかったためと思われた。今後はCTGの判読を一部、取り入れてより実践的な演習としたい。

内 容	平 均 値	標準偏差
1) 演習は面白かった	4.8	0.7
2) 演習はやりがいがあった	4.7	0.5
3) 演習はやればできそうだった	3.3	0.7
4) 演習をやったよかった	5.0	0.0
5) 他の産婦ムービーも見てみたい	4.9	0.3
6) 後輩に勧めたい	4.7	0.5
7) 産婦の健康状態の診断に役立つ	4.7	0.5
8) 胎児の健康状態の診断に役立つ	3.6	1.0
9) 分娩進行状態の診断に役立つ	4.9	0.3
10) 分娩経過の予測に役立つ	4.8	0.4
11) 分娩進行に応じた産婦と家族のケアに役立つ	4.6	0.5

交 流 集 会

周産期看護ケアにおけるデータ集積と分析のあり方

成田 伸	自治医科大学	工藤 里香	兵庫医療大学
松原 まなみ	聖マリア学院大学	山田 加奈子	大阪府立大学
大平 光子	広島大学	川口 弥恵子	聖マリア学院大学
笹野 京子	富山大学	小嶋 由美	ことり助産院

I 緒 言

看護系大学の急増に伴走するように、母性看護学領域の研究も急増している。それらは質的研究法あるいは量的研究法を取り、母性看護学が明らかにすべき課題を探索している。一方で、それらの研究成果は、私たちのケアの成果として支払われる診療報酬に反映しているだろうか？

日本母性看護学会では、戦略的プロジェクトを設け、私は理事としてその役割を担当してきたが、2005年に看護系学会等社会保険連合（以下、看保連と略）が発足した折から母性看護学会からの委員として参加してきた。看保連は、看護の立場から社会保険制度の在り方を提言し、また診療報酬体系及び介護報酬体系等の評価・充実・適正化の促進を目的とする組織として、看護系39学会の代表が集まり発足したものである。看保連では看護技術検討委員会に所属し、2年に一度の診療報酬改定に向けて、特に周産期看護ケアにおいて診療報酬改定に結びつくような研究活動の立ち上げに向けて検討を重ねてきた。

今回の交流集会は、研究代表者として採択された挑戦的萌芽研究「妊娠糖尿病女性への妊娠糖尿病認定助産師による産後継続支援に関する多施設共同研究」（課題番号26670990）に焦点をあて、周産期看護ケアにおけるデータ集積と分析のあり方についての私見を述べると共に、これから母性看護学領域の研究者に求められる新たな研究の方向性について、一緒に検討して行きたいと思っている。

II 研究の紹介

「妊娠糖尿病女性への妊娠糖尿病認定助産師による産後継続支援に関する多施設共同研究」は、妊娠糖尿病（以下、GDM）既往女性への、妊娠糖尿病認定助産師（以下、GDM 助産師）が主導する産後継続支援により、DM に関わるフォローアップ率を改善し、GDM 既往女性の将来の糖尿病（以下、DM）発症を予防することを目的に、多施設共同研究を行うものである。GDM 助産師とは、GDM を含め糖尿病発症予防についての知識強化の育成プログラムを修了した助産師で、その教育・相談・調整役として母性看護専門看護師（母性CNS と略）を採用する。研究に参加する各医療機関では、GDM 助産師を中心に各医療施設でチームを結成し、GDM 既往女性に対して、母乳育児外来等を活用し、産後に継続的に支援する体制の構築を目指す。これらの体制整備の結果として、GDM 既往女性のフォローアップ率の改善をめざし、この体制の有用性・汎用性を検証するものである。

多施設共同研究とするために、北海道・東北関東地区、東海・北陸地区、関西地区、中四国地区、九州地区の5地区の研究者の共同研究とし、またそれぞれの地区に所属する母性看護専門看護師にも協力を要請し、それぞれの地区を中心に、研究に協力してくれる医療機関と助産師を募集し、共同研究チームの構築を目指す予定である。

第16回日本母性看護学会学術集会 プログラム・抄録集

会 長：遠藤 俊子

事務局：京都橘大学 看護学部

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34

TEL & FAX：075-574-4247/075-574-4250

E-mail：jsmn2014@tachibana-u.ac.jp

学術集会 HP URL：http://16.bosei.org/

出 版：(株)セカンド  株式会社セカンド
学会サポート <http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺 4-39-11 ヤマウチビル 1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025



学術集会事務局

京都橘大学 看護学部

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34

TEL&FAX: 075-574-4250

E-mail: jsmn2014@tachibana-u.ac.jp